

## 第3回中和田中学校地域防災拠点運営委員会次第（記録）

参加者：校長・副校長・北村先生・鈴係長・近藤係長

佐藤会長・大石会長・畑中会長・町会役員

開催日：令和4年10月11日（火）18時00分開始

会場：中和田中学校会議室

### 式次第

司会：東町内会 畑中 祐一 記録：台谷戸町内会 大石 良孝

1. 挨拶；永島学校長、：生徒を始め皆さんにお世話になっています。コロナが少しずつ変化してきている。今年こそ普通通りに生活していけるか。防災はいつ来るかわからない。対応していきたい。
2. 鈴係長、：昨年は座学中心に行ってきた。今年度はDVD鑑賞の後、5項目について実施訓練を行ってみたい。
3. 佐藤委員長、：どこに出かけてもすごい人出で、コロナも落ち着いてきている。今回の訓練では昨年より行動を少し増やしてやっていきたい。避難物資の有効利用で水缶や保存パンなど参加人数で割ったら、多すぎて重たい。後ほど皆さんと協議したい。

### 2. 本日の資料（佐藤が配布資料に従って、22頁全体を説明）

- ① 運営委員名簿の確認（一部変更有）・名簿には鍵保管者も含む
- ② 班編成と各班の事務分掌（一部変更有）
- ③ 安否確認カード（前年度、ペットの有無・体温記載欄を入れた。）
- ④ 年間活動計画の見直し（案）（7回を5回に減らした。）
- ⑤ 中和田中学校地域防災運営委員会資料（鈴係長）

- 1） 地域防災拠点開設関係資料の「プログラムの流れ」を中心に説明された。DVD鑑賞の後、90分かけて5項目について行っていききたい。1①の拠点開会に伴う外観と内部の点検。数人ずつに分かれて確認していく。それぞれ委員長に報告し、会場開設宣言を出してもらう。
- 2） 受付訓練ではA3の用紙を配布したが参考にしてみたい。熱のある人・普通の人など流れが違う。配置図を基に実施してみたい。②体育館の区割りでは参加者にレジャーシートを配布し、工夫をしてみたい。通路になるところにシートを引き、両サイドにレジャーシートを並べてみたい。家族人数に応じて。
- 3） トイレパックの利用法では、男女に分かれて、それぞれで行うことで、込み合わないようにしたい。
- 4） 備蓄庫の見学では、何がどこにあるのかが大事。不要なものの整理が終っていない。改めて危機管理係とも調整して早急に行きたい。

### 3. その他（係分担）

- ・委員長—運営、申請、報告、連絡調整、（今後の調整が必要）
- ・副委員長—議事進行、議事録作成、会計事務、各班の取りまとめ

- ・委員―各班の運営、備蓄庫管理等
- ・監事―各班活動の連絡調整

#### 4. はまっこトイレ導入について（佐藤）

下水道を利用して、はまっこトイレが設置される。環境事業局が来て学校の見取り図を基に協議し、職員室前にトイレ用マンホールを設置する。アスファルトを切削するためアスファルトに段差がつかないように工事することなど要望も出された。

#### 5. 12月の訓練について

別紙参照

#### 質問事項

- ① 安全確認の人数など。：次回運営委員会で打ち出ししたい。
- ② 組み立てベットがあるが：病人アド少人数と考えてほしい。
- ③ 班編成で、要援護班があるところがある。：救出救護に入っている。検討する。
- ④ ペット問題について：中和田中学校マニュアルには、飼い主で管理するとなっている。  
原則は自宅で飼育。
- ⑤ 体育館にテントの持ち込みは：全体の居住空間を考慮して判断したい。
- ⑥ トイレパックの説明は、狭すぎないか。：男女分かれてやったらどうだろうか。
- ⑦ 移動式担架について：備蓄庫を探したが、見つからなかった。

終了後、鈴・近藤・佐藤で備蓄庫を確認。医療物品関係や期限切れ備蓄品の未撤収問題など。平成24年の横浜市のマニュアルや受付での安否確認カードなど出てきた。今後もいろいろ古いものがあると思われる。担架で医療用となっているものがある。など。

鈴係長からのメールです。

- ・DVDは総務課に貸出用あり（当日持参いたします）
- ・組み立てベッドについては、組み立てても戻すことができるので、訓練等で組み立ててみても良い
- ・個別のレジャーテントの持込については、割り当てられた範囲内であれば使用しても構わない
- ・ペットの同行避難については、市全体の取組のため、拠点として「原則受け入れない」といった取扱いは不可

（市のマニュアルにも掲載されているように、「事前に預け先を検討しておきましょう」などの呼びかけはできるかと思います。）

- ・「援護班」の設置については、総務課では設置している拠点は思い当たらないとのことでした。質問いただいた方が仰っていた他区の事例が何区なのかが分かれば、こういった役割で運用しているのか等について、

区役所から確認することもできそうです。

ただし、「要援護者」に対する安否確認等の取組は単位自治会町内会の取組のため、拠点として何をどこまでやるのかは検討が必要になりそうです。

- ・昨日探して見つからなかった車輪付きの担架は、昨日見ていた「20」と書かれた段ボール全てだそうです。

（その隣にあった白い布地の担架が防災拠点用で配備しているものなので、倉庫の有効活用の観点からも廃棄して良いですね？）

また、不要な医療資器材と備蓄庫全体の整理についても総務課に相談したところ、12月までの休日の午前中でどうかとの話になりました。

作業としては、不要資器材も含めて備蓄庫の物品を全て一度外に出し、必要なものだけを事前に整理・割り当てをした場所に戻すといった作業になるかと思います。そのため、駐車場か校庭の片隅に一度荷物を全て出す必要があるのと、不要資器材については少し置かせていただいて、その日のうちにピストン輸送で区役所に持ち帰りたいと思います。

半日かかりになるので、それなりに大変な作業にはなるかとは思いますが、いかがでしょうか。やるとなれば、学校側との日程調整と、委員・班員をどこまで招集するのか等の検討が必要になるかと思います。

以上、よろしくお願いいたします。